



みなとユネスコ 会報

Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/ 田部葵一郎
Mail: m-info@minatounesco.jp https://minato-unesco.jp

2025年7月1日発行 第180号

目次

P. 1	巻頭言	P. 10-12	国際理解講演会「魔王襲来」
P. 2	2024年度関東ブロック研究会 in 茨城	P. 13	三田高校ユネスコ委員会シンポジウム
P. 3	第80回日ユ全国大会 in 新居浜	P. 14	MUA 年次総会
p. 4-8	MUA「ユネスコ教育勧告」シンポジウム	P. 15	MUA 2025年度役員リスト
P. 9	2024年度都ユ連盟研修会	P. 16	事務局便り

港ユネスコ協会副会長就任のご挨拶

坪谷ニューエル郁子



港ユネスコ協会の会員となって久しく経っておるのにまことに恥ずかしながら、この挨拶を書くにあたって初めてユネスコの設立経緯、憲章、そして民間ボランティア団体であるユネスコ協会の活動について遅まきながら勉強を致しました。ユネスコは世界遺産を守る組織程度の知識しかなかった私は自分を恥ずかしく思いました。そして港ユネスコ協会の会員の一人であること、またこの度副会長に就任させていただくことを心より光栄に思うところです。

世界中を分断してしまった第2次世界大戦の教訓から、戦後すぐに『教育、科学、文化の協力と交流』を通じて、『国際平和と人類の福祉の促進』を目的として設立されたのがユネスコであり、その位置付けは国際連合の専門機関であること、また実に194の加盟国にてその運動が推進されておること、そして憲章に掲げられた理念は一言で言えば「平和」の創造が目的といえます。まさに何よりも大切なミッションです。

その上でその理念に共鳴した人々がそれぞれの地区で「教育、科学、文化、コミュニケーションを通じ、国際平和と人類共通の福祉を促進しよう」と草の根、ボランティア活動をするための協会がユネスコ協会であり、全国各地に約300もあること、またその中で首都東京の尚且つ中央に位置しており、区民の10%が外国籍という特徴を持つ港区での活動を担っているのが港ユネスコ協会であり、その役割は大きなものと言えます。

その港ユネスコ協会では昭和56年の創立から44年の長きに渡り、「会員開発」「広報」「語学研修」「国際学術文化」「ユース」などそれぞれの必要とされている委員会をお作りになり、時には一人何役もこなしながら多くの活動をなさっておられる。その上「世界の料理」「日本語スピーチコンテスト」「文化体験」「港区民まつり」などの様々なイベントの計画、実施など、一つの分野でも大変な量と質であるものを、驚くべき頻度でご熱心に関わっておられることも遅ればせながら知り頭の下がる思いです。なか なかできないことです。本当に素晴らしいの一言です。

このところ、本当に世界は変わりました。親や友人とも会えない、学校へも行けないという想

(P.2へ続く)

2024年度 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 茨城

月日：2024年10月12日（土）

会場：つくば国際大学（土浦市）

関東ブロック・ユネスコ活動研究会が、茨城県土浦市で開催されました。参加者200名（都連から36名）。オープニングイベントは、全日本合唱コンクール全国大会小学校部門で金賞に輝いた土浦市立第二小学校の合唱で始まり、基調講演と分科会を中心に行われました。

■基調講演：富田敬子氏（常盤大学学長）

「持続可能な開発目標(SDGs)ー残された6年の挑戦ー」

■分科会：第1分科会「SDGs活動と民間ユネスコの役割」

第2分科会「平和活動・世界寺子屋運動と国際交流」

第3分科会「世界遺産・未来遺産」



第2分科会では、ミンガラバー・ユネスコクラブ（杉並区）からの報告がありました。ミャンマーをめぐる内外での活動状況と今後の支援のあり方について、2021年のクーデター以降、軍政が続くミャンマーで、寺子屋等を通じた教育支援の重要性や、ミャンマーと日本の相互理解・交流のさらなる活性化が望まれるとの指摘がなされました。

なお、2025年関東ブロック大会は9月27日（土）に埼玉県深谷市民文化会館にて開催されます。

（常任理事 国際学術文化委員会 佐藤律子）

（P.1から続く）港ユネスコ協会副会長就任のご挨拶

像もしなかった社会生活を送らざるをえなかったコロナの世界規模でのパンデミックに始まり、今も起きている武力紛争。米国の大学進学を目指していた高校生が今年は学生ビザがおりない、と涙をためて面会に来ました。時代が逆戻りしたような自国中心主義、極右政治の台頭、ユネスコの設立目的である「平和の創造」からどんどんかけ離れているのではないかと感じているのは私だけではないはずです。

さらに東京が40度近い猛暑日があるようになってしまった地球の温暖化。東京湾には亜熱帯の魚が泳いでいます。一体私たちはどこに向かっているのでしょうか。

4年も戦争に駆り出され駆逐艦「春風」に乗っていた父は帰宅途中に困っている人に時計も背広も時には靴まであげてしまうような優しい人でしたが、子供の頃テレビで戦争の場面がでてくると、黙ってテレビを消されてしまいその時だけは怖かったです。そして亡くなる前の言葉は「戦争はいやだ」でした。しかし戦後80年経ってもニュースではおそらく父の見た光景と同じ廃墟と苦しみ泣き叫ぶ人々。いったい私たちはいつになったら学ぶのかと心が苦しくなります。何より大切なのは「平和」です。

だからこそ、私たちのユネスコの活動が必要なのだと心から思います。一人一人は小さな力ですが、同じ思いの人々が声をあわせればやがて岩をも動かすと信じています。皆様と港ユネスコ協会のお仲間の一員として少しでもお役に立てるようにがんばりますゆえ、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第80回 日本ユネスコ運動全国大会 in 新居浜

月日：2024年11月23日（土）

会場：リーガロイヤルホテル新居浜

日本ユネスコ運動全国大会が、愛媛県新居浜市で開催されました。全体参加者320名、都ユ連から18名（港ユネスコ協会2名）。新居浜市は、日本の三大銅山の一つである別子銅山と共に発展してきた工業都市です。産出された銅は、大阪に運ばれ、住友財閥が形成される礎となりました。元禄3年（1690年）開抗、昭和48年（1973年）に閉山。（閉山時の名称は、「住友金属鉱山」）。記念講演と実践報告を中心に行われました。

記念講演：「SDGsの先進事例から学ぶ」末岡照啓氏（住友資料館顧問・元広瀬歴史記念館名誉館長）

銅山を運営する住友企業と労働者側が共に、環境保全に正面から取り組み、地域全体を豊かにする活動をSDGsの先進事例として捉え、その時代に既にSDGsが先取りして実践されていたと発表されました。

実践報告：市内27の全ての小・中学校がユネスコスクールであり、県立新居浜南高校もユネスコスクールです。その中の4校から活動が報告されました。

- ・愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部
別子銅山の歴史を学習している。世界に知られた鉱山であり、日本の産業革命を代表するもの。時代を先取りして環境問題に取り組んだこと。閉山後も都市計画を行い、持続可能な工業都市にした。別子銅山をユネスコ文化遺産への登録を目指している。
- ・新居浜市立船木中学校
「生徒は持続可能な発展を目指してどのように生き抜けばよいのか」という問いに、その方法を探求する学習を行っている。今回は、「環境の視点からの学習」の事例が報告されました。具体的には、別子銅山の近代化産業遺産や校区における奉仕体験活動、校区の自然環境で生息する準絶滅危惧種（ニホンイシガメ）の保護運動を行っている。
- ・新居浜市立多喜浜小学校
多喜浜塩田を未来に伝えよう。多喜浜の過去と未来を繋ぐ活動を報告。
- ・新居浜市立惣開小学校
学校と地域のパートナーシップによる協働的なESD活動を通じて、持続可能な共創型社会の実現を目指している。「ふるさと学習」「環境教育」「防災教育」「人権教育」の四つの柱。地域の方々との交流活動や文化施設での体験活動等、「かかわり」「つながり」を重視した取り組みを展開している。



最後に、生徒さん達の報告に対して、日本ユネスコ協連の鈴木理事長より、丁寧な総評をいただきました。2025年度の全国大会は、2025年10月18日（土）、金沢で開催されます。

（常任理事 国際学術文化委員会 佐藤律子）

2024年度 港ユネスコ協会 シンポジウム 平和を考えるシリーズ 第6回
「ユネスコ教育勧告が日本問いかけるもの」

日時：2025年1月21日（火）19時

会場：国際文化会館 講堂

主催：港ユネスコ協会、共催：港区教育委員会

モデレーター： 渋谷 恵（明治学院大学教授）

基調講演： 永田 佳之（聖心女子大学教授）

パネリスト： 南山 夏奈子（都立三田高校1年）

水岡 翼（都立三田高校2年）

小林 洋太（都立三田高校2年）

今回は、明治学院大学教授 渋谷恵氏をモデレーターにお迎えし、テーマに「2023年ユネスコ教育勧告」をご提案いただき、また、都立三田高校の生徒さんにもご登壇いただいて実現いたしました。以下、要約です。

渋谷恵氏

1974年のユネスコ教育勧告は、日本ではあまり認知されていなかったのですが、この度、加盟国から見直しが提言され、世界中で議論され2023年に改訂されました。ユネスコの教育勧告について、周囲と話す機会がなく、一緒に話す機会を持ちたい。それから、それぞれの場所でアクションに繋がりたいと思い、この企画を立てさせていただきました。



基調講演：永田佳之氏

■「ユネスコ教育勧告が日本に問いかけるもの～若者と考える教育の未来～」

① ユネスコ教育勧告とは何か？

今日は、若者が自ら語ってくださるということで、とても嬉しく思っています。未来を担う作り手（当事者）が、ご自身の言葉で未来に向けた教育を語る試みは、多分、初めてであり、画期的で大切な第一歩だと思います。まず、質問ですが、読み書き・算盤以外に、学ぶとしたら何を学びますか？（何を学ぶ必要がありますか？）自分と違う意見を持った人、宗教とか、バックグラウンドの違う人たちといったような、異質な他者を受け入れていくこと？ 中世ヨーロッパでは、音楽とか詩を優先した時代がありましたし、地域や時代によって、様々な答えがありました。戦前の日本だと教育勅語を覚えて国家に尽くす人を作っていくとか、教育がツールとして使われた時代もありました。現代社会では、情報・デジタルトランスフォー

ーションという回答も出てくるでしょう。さて、勧告についてですが、この質問に対し、この度、「平和と人権」であると、世界の194カ国によって合意されたという解釈ができるでしょう。(2023年ユネスコ総会)戦争の止まない時代に、明確な方向性が示されて、その意義はとても大きいと思います。以下、改定前の1974年に採択された勧告との名称の比較です。

- ・1974年ユネスコ教育勧告

国際理解、国際協力及び国際平和のための教育並びに人権及び基本的自由についての教育に関する勧告

- ・2023年ユネスコ教育勧告(改訂版)

平和と人権、国際理解、協力、基本的自由、グローバル・シチズンシップ、持続可能な開発のための教育に関する勧告

何故、改訂されたのか？1つの理由は、地球規模の問題性が変わったからです。50年前は、気候変動がなかったし、パンデミックもなかった。今は、AIの新しい可能性と脅威も生まれている。50年前には考えられなかったことに、教育が対応していないからです。法的拘束力はないが、加盟国に対して、法令・政策の取り組みに反映させること、そして全ての関係者が連携して取り組むことが期待されています。1974年のユネスコ教育勧告は生かされなかったが、2023年の勧告は生かしたい。それに向けて気運を高めていきたいのです。国内では取り組みを推進しているという基本計画があります。今日は、「2023年ユネスコ教育勧告」の目玉である14の原則について、解説します。

14の主導原則

1. ヒューマンライツ(人権が基本)
2. コモン・グッド(公共善としての教育(質の高い教育へのアクセス))
3. ライツホルダー(反差別・偏見)
4. コンヴィヴィアル(ケアの倫理とコンパッション)
5. ジェンダー(ジェンダー平等)
6. インクルーシブ(多様性の重視)
7. ウェルビーイング(安全・健康・ウェルビーイング)
8. トランスフォーメーション(生涯を通じてホリスティックに変容)
9. ナレッジ・コクリエーション(教師も生徒も知の共同創造者)
10. フリーダム・オブ・エクスプレッション(表現の自由と暴力・憎悪の擁護に対する禁止)
11. エシックス・オブ・テクノロジー(問題解決の主体としての学習者(テクノロジーの倫理的利用))
12. インターコネクション(ローカルとグローバルの対話促進)
13. ダイアログ(文化間・世代間の対話促進)
14. グローバル・シチズンシップ(グローバルな市民性)

② 日本での課題と可能性

他に、いじめ、不登校などの問題があり、実質、教育への権利は十分に保障しきれていないのが現実。先進国でも不登校が増えている。教育でこれが実現されているのか？知識だけではなく、感情・精神・身体性も。学校は楽しくて学びがエキサイティング、わくわくするというような方向に行かないといけないと思います。

南山夏奈子さん(みなみやま ななこ)

■「都立三田高校ユネスコ委員会と日本の教育について」

まず、本校のユネスコ委員会について。本校はユネスコ活動に積極的なユネスコスクールです。その活動の中心を担っているのがユネスコ委員会です。活動内容は、「大使館訪問」・「文化祭の活動」・「ユネスコ世界寺子屋運動への参加」・「ウクライナやトルコ、シリアへの支援金集め」です。

- ① 文化祭の活動について。文化祭では、バザーと募金活動を行いました。生徒と先生方から使わないものを回収。全売り上げと寄付金を合わせて 41,955 円を、NPO を通じてガザ地区に寄付。また、校内にユネスコに関するクイズラリーを複数設置して、すべてのクイズに参加した生徒にトレード商品の提供を行いました。
- ② 本校は、毎年「世界寺子屋運動」に参加しています。書き損じハガキの回収を通じて得た資金を利
用して、貧困をなくし、読み書きのできる人を増やす活動を行っています。本校では書き損じハガキの回収を行う前に、読み書き大切さを伝える伝言ゲームを実施しました。伝言をメモできるグループとできないグループに分けて、識字者と非識字者を区別。伝言をメモできないグループは、正しく伝言を伝えることができず、生徒からは文字を使えることの大切さを実感することができたなどの、感想がありました。文字を使うことの大切さを学ぶ機会を作った上で、書き損じハガキや金券の回収（募集）を呼び掛けています。
- ③ 講演会の実施について。昨年度と今年度は、古着の回収を実施していて、回収した古着の寄付先
の NPO 法人の方から講演をいただきました。

本日の港ユネスコ協会シンポジウムにも、このような活動の一環として参加しています。次は、先輩から、これからの日本の教育について、お話しします。

水岡翼さん

■校内アンケートの実施・結果・考察

01) 校内アンケートの実施

14 のキーワードの中から、平和、人権、持続可能な開発を反映させて、ローカルな視点とグローバルな視点から考えるとして質問を考えました。

02) アンケートの質問・結果・考察

■コンヴィヴィアル（平和）

ローカル：

Q：身近な所での意見の相違、不和の経験について。

A：不和や喧嘩の経験がある生徒数：「ある」と回答した生徒数：約 8 割（回答数 103）
意見の違いから喧嘩→相手の意見をもっと良く聞くべきだった。

グローバル：

Q：これらを世界規模に広げ、どういったことが起きているか？

A：世界での問題に関して。戦争、差別→もっと話し合いが必要、一般人の声が反映されるべき。その一方で、大きな問題は、自分達の力では解決が難しいのではないか？
そもそも根本的に解決が難しいものではないか？という声も多くある。

■インクルーシブ（人権）

ローカルな視点・グローバルな視点から、それぞれ質問をして、回答が寄せられました。
※詳細は省略。

■エシックス オブ テクノロジー（持続可能な開発）

ローカルな視点・グローバルな視点から、それぞれ質問をして、回答が寄せられました。
※詳細は省略。

【ユネスコ委員会の考察】

・三田高生は、問題を良く捉えていて、何が必要か、について、しっかり意見を持っていると言えます。しかし、どうやって？という手段についての認識が甘いように思います。良い風潮を社会に広げるには、教育が役割を果たす。しかしどのような教育が必要なのか？についての回答はなく、具体性に欠ける。

・意識改善のために、問題をより身近に実感する必要があるのではないか？戦争や差別の問題は解決できないのではないか？個人の努力も政府の努力も必要。当事者意識が足りないのと、問題に実感が湧いておらず、考えが深まっていないのではないか。ローカルな視点から少しずつ考えを進化させて行き、最終的にグローバルな視野に繋げていくことが必要ではないかと考察しました。生徒の関心がまだ足りないので、今の教育から、より主体的な学びを広げ、生徒も教師もわくわくするような教育の場にしていく必要があるのではないか。

小林洋太さん

■03) 「これからの教育」 — 高校生の視点から。

・問題の実感

問題意識はできているが、それに対して漠然としてイメージが強い。それが今の高校生の課題としてあげられている。原因は、一方通行の教育。教師から生徒への一方通行。例えば、ある問題の一つの考えでアプローチしてしまっている。そのために、社会的な問題にたいして、断片的な側面しか見えていないので、本質が理解できず、漠然としたイメージができているのではないかと考察しました。水平的な捉えかたである。

・軸と軸をつないだ学習が必要

水平的な捉え方を立体的な捉え方にするにはどうしたらよいか？ 軸と軸をつないだ学習が必要と考えます。距離の軸（ローカルとグローバル）・時間の軸（今と過去と今と未来）・人の軸（自分と他人）です。例えば、平和をテーマに上げると、ローカルな視点で、日本では平和だが、グローバルな視点では、ウクライナでは戦争が起きている。時間の軸で考えると、過去には2回の戦争を経験したし、未来もどうなるか分からない。というように、ある軸で考えると立体的に考えることができると思う。人の軸とは、ダイアログのことです。自分の意見と他人の意見を交換することで、新たな意見が入ってくる。新たな意見を自分の一意見として取り入れることで、また、新たな見方ができて、より物の本質を捉えることができるのではないかと思います。

・立体的な学習

大事なものは、「知る」・「考える」・「行動する」の、3つのステップ。そのどれにも通じることが、「対話」だと思う。

「対話」

「対話」（ダイアログ）とは、互いにエンパワーメントされるもの。ダイアログを通じて、自分の中にある漠然とした問題意識を言語化するのもダイアログでできる。他の人と意見交換することで、自分と違った意見が入ってくるために、エンパワーメントされて、様々な捉え方ができるようになるのではないかと。

「知る」

従来の学校教育（机の上の学習）+学校外での学び、自発的な学び（フィールドワーク、ダイアログ）が大事と思う。それらを通じて、エンパワーメントされて、様々な活動ができるのだと思う。

「考える」

「知る」と「対話する」ことをしていく中で、受け入れ難い意見がある。それに対し、どのように、どうしてと、自分で問いながら、「ダイアログ」や「知る」を繰り返して行く中で、その間

いに対する答えが出てくるはずです。

「行動」

「考える」「知る」「対話する」を繰り返していく中で、それを行動に移せると思う。例えば、買い物をするときに、この商品は、どれだけ環境に負荷を与えるか、など。

疑問・不安：

アンケートで高校生の抱える不安も集めました。「現行の学校教育制度はこのままでいいのか」

「個人が社会に与える影響は」「自己完結してしまう」「将来背負うことになる負担の大きさを考えると漠然とした不安がある」。

04) ユネスコ委員会のまとめ

「ダイアログを通じたコ・クリエーション」が、次の時代の教育に必要なだと思っています。これからの社会は AI だったり、世界情勢が複雑化して行く中で、従来のように一方的な考えでアプローチすることは、時代遅れではないか？そのような時代遅れを払拭するためにダイアログやコ・クリエーションが必要だと思う。ダイアログやコ・クリエーションをするために、「知る」「考える」「行動する」ことが大事。加えて、ダイアログを行う上で、14 のキーワードが大事なキーワードになるのではないかな。



都立三田高校から、教職員の方々もたくさんご参加くださいました。また、担当の先生からは、生徒さん達が登壇する機会を作っていただけたと、とても喜んでいただきました。今後に繋がりたいと思います。

(常任理事 国際学術文化委員会 佐藤律子)

2024年度 都ユ連研修会報告

テーマ：戦後80周年を迎えて、「平和」と「これからのユネスコ活動」を考える

主催 東京都ユネスコ連絡協議会（都ユ連） 杉並ユネスコ協会

日時 2025年2月23日（日）13:00～17:00

会場 杉並区立阿佐ヶ谷地域区民センター

激変する国際社会の中で、2025年に「戦後80年」、「ユネスコ創設80周年」を迎えます。しかし、未だ解決していない差別や分断、紛争、地球環境の悪化等を私たちは目の当たりにしています。この研修会では、下記のとおり都内3つのユネスコ協会から平和の実現に向けての実践報告と提案を行いました。その後のグループトークでは、テーマ別に分かれて「平和の構築や持続可能な未来の実現のために私たちに何かできるか」を語り合い、具体的なアクションを共に考えました。

テーマ1「教育・文化の視点から平和を考える」 （一社）新宿ユネスコ協会

テーマ2「平和を構築する国際理解」 港ユネスコ協会

テーマ3「被爆・戦争と平和」 中央区ユネスコ協会

私達、港ユネスコ協会からのプレゼンテーションは「国際理解を進める活動」を中核として、

- ① 「平和を考えるシリーズ」のシンポジウム
- ② 語学教室
- ③ 世界の料理教室
- ④ 国際理解講演会 オペラレクチャーコンサート・はにわを楽しむ・海の流れのはなし
- ⑤ 日本語スピーチコンテスト

の実践活動について、ボランティア参加された玉川大学の岡本麻鈴さん（右の写真）から具体的な内容を発表して頂きました。



今後の活動においては、現在の活動を幅広く展開・継続することと「平和を考えるシリーズ」のシンポジウムをより深い点から充実させることを目標としていることをお伝えして終わりました。

グループトークでは3つのテーマごとに各3グループ（全体で9つのグループ）に分かれ平和実現のためにユネスコ活動で何ができるか、具体的な対応アクションを考えました。アクションは各ユネスコ協会やクラブでできるもの、「2000人プロジェクト」のアクションの中でできるもの等自由な視点から語り合い、まとまったテーマとアクションを9つの各グループの代表者が発表しました。

都ユ連研修会終了後、実行委員会「次につなぐ会」を開催して、挙げられたアクション案をどのようにこれからの活動につなげるかを検討し、進めていくことになりました。



（港ユネスコ協会 発表者 梅根敬一郎）

2024年度 第3回国際理解講演会

「魔王襲来」～漆黒の音色で魅了するバリトン歌手によるレクチャーコンサート～

講師：友清 崇氏 バリトン歌手 二期会会員

ピアニスト：佐伯涼真さん、ヴァイオリニスト：内田 悠さん

月日：2025年2月24日（月・祝）

会場：港区立男女平等参画センター リーブラホール



ドイツを代表する文豪ゲーテが書き上げた不朽の名作「魔王」。教科書にも載り、多くの人々が知るシューベルト作曲「魔王」。しかし作曲を手掛けたのはシューベルトだけではなく、多くの作曲家が魔王に魅せられて作曲をしています。講演ではゲーテの「魔王」誕生のお話とその詩を会場の参加者と一緒にドイツ語で朗読しました。後半では魅せられた多くの作曲家の中から8名の作曲家の解説と作品を講師が実際に歌い、その違いをバリトン歌手の歌で体感していただきました。

「魔王」はドイツ語では「Erlkönig」（エアル ケオーニッヒ）となり、Erle はハンノキ könig は王様という意味です。ハンノキはカバノキ科の植物（木）で25m～30mにもなります。ドイツではハンノキ伝説があります。

～野山を歩く者たちは「イルル」と呼ばれるハンノキ林に住む女を恐れ、彼女は沼地に誘惑しようとしていた。「イルル」はハンノキの化身であると考えられており、妖術を持つものと伝えられていた～

日本でゲーテの「魔王」を紹介したのは正確には分かりませんが、明治38年に発行された橋本忠夫訳「ゲエテの詩」（新潮社）に「魔王」という題名で邦訳されており、その後の詩集や全集でもそのまま継承されています。ここで「ゲエテの詩」を朗読しました。

また、ゲーテの「魔王」には元ネタがあります。デンマーク民謡に「Elveskud」（妖精の一撃）というものがあります。ドイツの哲学者ヨハン・ゴットフリート・ヘルダー（1744～1803）はこれを元に「ハンノキの王の娘」を作りました。作曲家カール・レーヴェ（1797～1828）が1821年に作曲した歌曲「オールフ殿」にその内容が歌われています。ここでこの歌曲「オールフ殿」を講師が歌いました。

～オールフは翌日の自分の婚礼の宴に客を招くために夜遅くに遠くへと馬を走らす。岸边には妖精たちが舞っており魔王の娘が手を差しのべ、一緒に踊ろうと誘う。オールフは明日は自分の婚礼なので踊ることはできないし踊りたくもないと断る。娘は何度も誘うが断ると私と踊らないならば悪い疫や重い病がとりつくと言い一撃を加えた。娘は彼を馬に押し上げ「家に帰れ お前の大事なおなごの所へ」。オールフが家に帰りつくと母親がその姿を見て震えながら立っていた。「彼女に言ってくれ、僕は馬に乗って森へ出かけたよ、獵の調教しに馬と犬とで…」。翌朝朝早く花嫁がやってきてオールフを探すが、真紅の布を持ち上げるとオールフ殿は横たわっていて、死んでいた～

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ（1749～1832年）は詩人・劇作家・小説家・自然科学者・政治家・法律家。1782年ゲーテ33歳の時「漁師の娘」を発表。ゲーテが友人の邸宅を訪れた日

のこと、夜遅くに馬に乗った暗い人影が何かを抱え、急いで門を通って行くのを見たという。翌日ゲーテと友人は農夫が病気の息子を医者のところへ連れて行ったのだと教えられた。この出来事と前述の伝承が詩の主な着想になったと言われている。

「漁師の娘」の冒頭～岸辺にある大きなハンノキの下に点々と漁師の小屋がある。ある夜、あたりは静まり返る。小さな火の上に鍋がかけられ、その周囲には漁の網、道具などが置かれている。漁師の娘、ドルトヒェンは仕事をしながら口ずさんだ歌が「Erlkönig 魔王」であった。

講師はゲーテ「魔王」の詩をまず朗読し、その後会場の参加者と一緒にドイツ語で朗読しました。この後、ゲーテの魔王を作曲した多くの作曲家の中より選んだ8名の作曲家の解説とその作品を講師が実際に歌い、その違いをバリトン歌手の歌で体感していただきました。



<p>Was reitet so spät durch Nacht und Wind? Wer reitet so spät durch Nacht und Wind?</p> <p>Es ist der Vater mit seinem Kind; Es ist der Vater mit seinem Kind;</p> <p>Er hat den Knaben wohl in dem Arm, Er hat den Knaben wohl in dem Arm,</p> <p>Er fasst ihn sicher, er hält ihn warm. Er fasst ihn sicher, er hält ihn warm.</p> <p>Mein Sohn, was birgst du so bang dein Gesicht? Mein Sohn, was birgst du so bang dein Gesicht?</p> <p>Siehst, Vater, du den Erlkönig nicht? Siehst, Vater, du den Erlkönig nicht?</p> <p>Den Erlkönig mit Kron' und Schweif? Den Erlkönig mit Kron' und Schweif?</p> <p>Mein Sohn, es ist ein Nebelstreif. Mein Sohn, es ist ein Nebelstreif.</p> <p>Du liebes Kind, komm, geh mit mir! Du liebes Kind, komm, geh mit mir!</p> <p>Gar schöne Spiele spiel' ich mit dir, Gar schöne Spiele spiel' ich mit dir,</p> <p>Manch' bunte Blumen sind an dem Strand, Manch' bunte Blumen sind an dem Strand,</p> <p>Meine Mutter hat manch gülden Gewand. Meine Mutter hat manch gülden Gewand.</p> <p>Mein Vater, mein Vater, und hörest du nicht, Mein Vater, mein Vater, und hörest du nicht,</p> <p>Was Erlkönig mir leise verspricht? Was Erlkönig mir leise verspricht?</p> <p>Sei ruhig, bleibe ruhig, mein Kind; Sei ruhig, bleibe ruhig, mein Kind;</p> <p>In dürren Blättern säuselt der Wind. In dürren Blättern säuselt der Wind.</p>	<p>風吹く夜更けに馬を走らせているのは誰？</p> <p>それは子どもと一匹の父親だ。</p> <p>父親は子どもを腕に抱き、 しっかりと握りしめ、温もりを持って支えた。</p> <p>息子よ、何でそうも怖そうに顔を歪めるのか？</p> <p>ねえ見て、お父さん、魔王がいらない？</p> <p>冠をかぶり笄をひいた魔王が？</p> <p>息子よ、それは霧のたなびきだ。</p> <p>可愛いや、おいで、私といっしょに行こう！ いっしょに最高のお遊びをしようよ。</p> <p>河辺には色とりどりなお花がたくさんあるよ。</p> <p>私の可愛資金のドレスをいっぱい持っているよ。</p> <p>お父さん、お父さん、ねえ聞こえないの、</p> <p>魔王が僕にひそかに約束させてるのよ？</p> <p>落ち着いて、落ち着きなさい、息子よ、 乾いた葉が風でざわめいているのだ。</p>
---	--

<p>Willst, feiner Knabe, du mit mir gehn? Willst, feiner Knabe, du mit mir gehn?</p> <p>Meine Töchter sollen dich warten schön; Meine Töchter sollen dich warten schön;</p> <p>Meine Töchter führen den nächtlichen Reihn Meine Töchter führen den nächtlichen Reihn</p> <p>Und wiegen und tanzen und singen dich ein. Und wiegen und tanzen und singen dich ein.</p> <p>Mein Vater, mein Vater, und siehst du nicht dort Mein Vater, mein Vater, und siehst du nicht dort</p> <p>Erlkönigs Töchter am düstern Ort? Erlkönigs Töchter am düstern Ort?</p> <p>Mein Sohn, mein Sohn, ich seh' es genau: Mein Sohn, mein Sohn, ich seh' es genau:</p> <p>Es scheinen die alten Weiden so grau. Es scheinen die alten Weiden so grau.</p> <p>Ich liebe dich, mich reizt deine schöne Gestalt; Ich liebe dich, mich reizt deine schöne Gestalt;</p> <p>Und bist du nicht willig, so brauch' ich Gewalt. Und bist du nicht willig, so brauch' ich Gewalt.</p> <p>Mein Vater, mein Vater, jetzt fasst er mich an! Mein Vater, mein Vater, jetzt fasst er mich an!</p> <p>Erlkönig hat mir ein Leids getan! Erlkönig hat mir ein Leids getan!</p> <p>Dem Vater grauset's, er reitet geschwind, Dem Vater grauset's, er reitet geschwind,</p> <p>Er hält in Armen das ächzende Kind, Er hält in Armen das ächzende Kind,</p> <p>Erreicht den Hof mit Müh und Not, Erreicht den Hof mit Müh und Not,</p> <p>In seinen Armen das Kind war tot. In seinen Armen das Kind war tot.</p>	<p>見事なまでの可愛い子よ、いっしょに行く気は？</p> <p>私の娘たちはおまえを心から待ちますよ。 私の娘たちは度々夜なみ舞会には案内し 振り払い、お前を揺さぶって寝かしてあげよう。</p> <p>お父さん、お父さん、おそこに見えぬい？</p> <p>魔王の娘たちが暗いところ？</p> <p>息子よ、息子よ、わたしにはちゃんと見えるよ。 それは濃い夜色をした舞の老木がどろう。</p> <p>愛しているよ、お前の美しい姿に僕は夢をみるよ。</p> <p>それなのにお前がその気がないなら、カズくだ。</p> <p>お父さん、お父さん、今魔王が僕を掴んだ！</p> <p>魔王が僕を危なげ目に導かせた！</p> <p>父親はおののき、急ぎで馬を走らせ、 うめく子どもを腕に抱き、 やっとのことで悪魔に到着した。</p> <p>腕の中の子どもは死んでいた。</p>
---	---

- ① コロナ・シュレーター (1751～1802)
1782年ゲーテの魔王を“最初に作曲”したドイツの女優・歌手
- ② ヨハン・フリードリヒ・ライヒャルト (1752～1814)
40歳の時に魔王を作曲。生涯1500曲以上の歌曲を作曲。ドイツ歌曲の歴史においてシューベルトの先駆者として重要視されている。
- ③ ベルトハルト・クライン (1793～1832)
パリ音楽院で学んだ後、ケルン大聖堂の音楽監督に就任、26歳でベルリンに渡り、ベルリン歌劇アカデミー在籍、39歳で亡くなるまで在籍した。
- ④ カール・フリードリヒ・ツェルター (1758～1832)
ドイツの作曲家・指揮者・音楽教師。44歳の時ワイマールでゲーテと出会い30年以上にわたり深い友情が育まれた。ツェルターはゲーテの数少ない友人の一人でゲーテの詩を数多く受取

り、曲をつけて送り返した。

⑤ ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770～1827)

魔王の歌詞の部分はほとんど作られてなく、作曲するにあたってとても苦悩したと考えられており未完成。後年ラインホルト・ベッカー (1842～1924) がウィーン学友協会で未完成で埋もれていたベートーヴェン「魔王」の楽譜に補筆を施し 1897 年に発表

⑥ ルイ・シュポーア (1784～1859)

作曲家・声楽教師・ヴァイオリニスト・指揮者。ヴァイオリンのあごあてを発明。「魔王」は 1856 年、ヴァイオリンとピアノの伴奏のついた 6 つのバリトンのための歌曲 Op. 154 の中で作曲。

⑦ カール・レーヴェ (1796～1869)

ドイツの作曲家・声楽家・ピアニスト。およそ 400 曲の歌曲を作曲。1824 年 28 歳の時に「魔王」を作曲。バラードの名手。

⑧ フランツ・シューベルト (1797～1828)

オーストリアの作曲家。「魔王」は 1815 年 18 歳の時に短時間 (4 時間) のうちに作曲した。シューベルトはある本の中の魔王の詩を朗読しながら興奮していた。本を手に行ったり来たりしていたが、突然座りこんだかと思うと、ごく短時間のうちに素晴らしいバラードが紙に書きつけられた。シューベルトはピアノを持っていなかったので、われわれはこの楽譜を手には神学校へ走って行った。「魔王」はその日の夕方うちに神学校で歌われ、興奮で迎えられた。(後略) —ヨーゼフ・フォン・シュバウン

講演の中で講師の友清崇氏が歌われたのは「オールフ殿」と 8 名の作曲家による「魔王」8 曲でした。



(国際学術文化委員会 梅根敬一郎)

シンポジウム ～高校生と創る平和・教育とダイアログ～

主催 都立三田高校ユネスコ委員会

日時：2025年3月29日（土）午前9時～

会場：都立三田高校音楽講堂



この度、都立三田高校から、シンポジウム開催のご案内をいただき、当協会からは、永野顧問が、港ユネスコ協会の活動について紹介され、また、会員7名が参加いたしました。同高校はユネスコスクールとして、持続可能な開発のための教育（ESD）、平和や国際理解に関する学びを重視していて、その活動の一環として、生徒さんたちが主体となり、今回のシンポジウムが企画されたものです。

プログラム

- ① 企画説明
- ② ユネスコ新教育勧告について
- ③ 平和についてのディスカッション
- ④ 平和のために私たちができること（活動紹介）
 1. ユネスコ委員会の活動
 2. 大学生の活動（MICHISHIRUBE 明治学院大学）
 3. 地域の活動（港ユネスコ協会）
 4. 国の活動（こども家庭庁）
- ⑤ ダイアログコーナー（ワークショップ）

ユネスコ教育勧告に基づいたカード型教材を利用して行われました。

プログラムの中の「ユネスコ新教育勧告について」では、これからの時代に何が相応しいのか？の問いに、次の時代の教育はダイアログを通じたコ・クリエイション。「和気あいあいのダイアログ」が大事であることがあげられました。こども家庭庁の方からは、子どもと多世代の連携が共創になるとお話がありました。

最後のダイアログコーナーは、三田高校の生徒さんたちが、各グループのファシリテーターになり、進められました。あるグループでは、「興味のある人たちが集まって交流できる場を作ってもらえて良かった。興味のない人に話しても分かってもらえない」、「国際交流に興味があるので、外国人の多い港区にある三田高校に入った」、「留学生など異なった考えをもった人との交流は、将来大きな力になる」などなど、さまざまな意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



今年1月の当協会のシンポジウムで、生徒さん3名が登壇された後、そのシンポジウムに触発されて、生徒さんたち自ら、シンポジウムを企画したと伺いました。指導教諭の先生、生徒さんたちがとても熱心な様子が印象的でした。

（常任理事 国際学術文化委員会 佐藤律子）

2025 年年次総会を開催

日時：2025 年 4 月 18 日（金）17：00 ～ 18：00

会場：港区立生涯学習センター（305 室）



（田部会長と清家 愛港区長）

港ユネスコ協会の 2025 年 4 月総会は、当協会顧問の港区長清家 愛様にご列席頂き、会員 24 名に加えて、港区教育委員会事務局から課長中林様、係長小島様、阿部様、熊谷様のご出席を頂いて開催しました。

清家 愛港区長からは、港ユネスコ協会が実施している「日本語スピーチコンテスト」をはじめ「メキシコ、台湾料理教室」、「国際理解講演会」、また日本の文化を体験して貰う「いけばな教室」等は国際相互理解、豊かな共生社会を創るための有意義な活動であるとして、身に余るお礼のお言葉を頂きました。

さらに、「港区の増上寺が所蔵する三種の仏教聖典叢書」が「ユネスコ世界の記憶」に登録されたことにより港区の魅力が世界に伝わることは喜びですと語られ、港区には 80 カ国の大使館があり、130 カ国以上の国籍の方々に住むので、この国際色豊かな港区の特性を大切にしていきたいです。多様な文化を身近に感じられる機会を創出すると共に、外国の方々とお互いに認め合える豊かな港区、優しさが響き合い世界と繋がる国際都市港区の実現を、港ユネスコ協会の皆さんと作り上げていきたいです。とご挨拶頂きました。

総会の議事進行は田部議長の下で、2024 年度「事業報告」、「会議報告」、「決算報告」、「監査報告」、「日本ユネスコ協会連盟、東京都ユネスコ連絡協議会に対する協力関係報告および 2025 年度の協力（案）」と進め、2025 年度の「事業計画（案）」、「予算（案）」、「ユネスコ協会役員（案）」、その他として「2025 年度の会長・副会長会議の席には常任理事の同席により会議を進める。（案）」の議案が順次議事に付され、それぞれの議案は全会一致で承認されました。

また、この度、副会長に就任された坪谷郁子副会長から「住民の 1 割が外国人という多様文化の中、ともに手を携えて平和に生きていくモデルケースを港区と港ユネスコ協会が他に先駆けて創っていきましょう」との力強いメッセージを頂きました。この後、5 月から着任する中島晋・新事務局長から自己紹介があり、一方、この 4 月で退任する川村隆彦・事務局長からもご挨拶を頂き、田部会長からこの一年間の労への感謝を伝えて頂きました。最後に石井義明副会長から閉会の挨拶があり、無事に 2024 年度を終え、新年度を迎えることができました。



会員の皆様のお力を頂いて、新たな年度を進めて参りたく存じます。
（副会長 小林敬幸）

2025年度 港ユネスコ協会役員

(五十音順)

会長	田部揆一郎	元三菱油化（現三菱化学）取締役
副会長	石井義明	元東京消防庁警防部長、元麻布消防署長
〃	磯部豊子	
〃	今村孝子	ラテンアメリカ国際交流協会会員
〃	小林敬幸	
〃	◎ 坪谷ニューエル郁子	学校法人 東京インターナショナルスクール 理事長
常任理事	奥村和子	
〃	笠原正子	茶道教室裏千家主管
〃	佐藤律子	
〃	田川純子	
〃	古市容子	
〃	松崎加寿子	医師
〃	宮下ゆかり	
〃	横井 彩	元ユネスコ職員
理事	宇都宮和美	宇都宮螺子株式会社役員
〃	佐々木剛	東京海洋大学教授（水圏環境教育学研究室）
〃	渋谷 恵	明治学院大学教授（心理学部教育発達学科）
〃	清水軍治	港区音楽連盟名誉会長、港区スポーツふれあい文化健康財団理事、 港区童謡唱歌の会会長、港シティコーラス名誉顧問等
〃	鈴木明美	
〃	中前由紀	港区議会議員
〃	平方一代	元横浜市住宅政策審議会委員
〃	三輪恵美子	
〃	森村俊介	前副会長、森村豊明会理事
〃	山田攝子	弁護士
〃	福本芳朗	一般社団法人くらしの資産設計支援機構 代表取締役
監事	棚橋征一	日野・レッドランズ姉妹都市協会副会長
〃	中川統夫	株式会社チエモリコーポレーション 代表取締役、港志会元会長
名誉会長	三輪公忠	上智大学名誉教授
顧問	明石 康	国際連合事務次長や国際連合事務総長特別代表などを歴任 公益財団法人 国際文化会館 名誉顧問
〃	伊藤公平	慶應義塾長
〃	高井光子	元会長
〃	清家 愛	港区長
〃	永野 博	前会長、東京都ユネスコ連絡協議会会長、 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟副会長
〃	見上陽一郎	学校法人 東京芸術学園音響芸術専門学校 学校長・理事長
相談役	菊地賢介	株式会社東京写真イメージング顧問
〃	木曾 功	元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使

◎は新任、すべての役員・役職の任期は2026年4月総会まで。

事務局便り

【ようこそ新入会員】

前号以降、3名の新入会員が加わっていただきました。

【開催中・募集中の事業】

☆日本語講座 (Summer Term) 田川純子先生 7/5 スタート (土曜日 10:00～) 10回

☆ビジネス英会話講座 Robert Edward Shiffer 先生 夏期 7/24 スタート
(木曜日 18:30～20:00) 全9回

*上記の語学教室の開催場所：港区立生涯学習センター3階 港ユネスコ協会事務局内

☆茶道入門講座 小野宗恵先生 開講中 (第四月曜日 14:00～16:30) 全6回
港区立生涯学習センター2階 203号室

【今後の事業予定】

☆2025年7月12日 (土) 14:00～16:00 第1回国際理解講演会「ユネスコ精神は国際対立を乗り越えられるか」
会場：港区立男女平等参画センター リーブラ 学習室A
講師：小林亮氏 (玉川大学教育学部教授)

☆2025年10月25日 (土) 14:00～16:00 第2回国際理解講演会「イタリアオペラ (仮)」
会場：港区立男女平等参画センター リーブラホール
講師：渡辺 大氏・裕里子氏

☆2025年11月29日 (土) 18:30 第3回国際理解講演会「おいしい魚の教養」
会場：港区立男女平等参画センター リーブラ 学習室C
講師：ながさき 一生氏

新任の中島事務局長からのご挨拶



5月に着任致しました中島晋 (なかじますすむ) です。これまで約10年にわたるアメリカ駐在をはじめ、様々な文化や風習を背景に持つ種々の国々の人々と新たな価値を生み出してきました。

今後はこれらの経験を生かし、ユネスコ憲章の平和の理念の実現に向け、教育や文化を通じた社会貢献に取り組む港ユネスコ協会の活動を、微力ではありますが、事務局として支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

港ユネスコ協会事務局 火曜日～金曜日 (祝日を除く) 午前10時30分～午後5時

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL: 03 (3434) 2300 TEL・FAX: 03 (3434) 2233

Eメール: m-info@minatounesco.jp ウェブサイト: <https://minato-unesco.jp>

